

平成28年12月9日

クロスカントリースキー選手各位

公益社団法人全日本学生スキー連盟  
クロスカントリー部長 萬羽琢哉

## 2016/2017シーズンにおける新 FIS ルールへの対応について

学生選手の皆さんにおかれましては、12月20日から開催される第31回全日本学生チャンピオンズスキー大会に向け、トレーニングに励まれていることと思います。

既に、各チーム内では新 FIS ルールに対する確認がなされているものと思いますが、以下の点が新たにルール化されましたので報告いたします。

### ICR343.8.1項

クラシカル・テクニクのレースでは、ポールの長さは選手の身長 $83\%$ 、フリー・テクニクでは $100\%$ 未満でなければならない。身長は平面に、ブーツを履いた状態で立ち、無帽で頭頂部から測る。ポール $83\%$ の長さは石突の先端から、ストラップの付け根の上の部分 $100\%$ を測る。計測値は全て、 $0.5\text{cm}$ 未満は切り捨てし、 $0.5\text{cm}$ 以上は繰り上げる。

新ルールにつきましては以下の大会につきまして適用されることとなります。

- ・ 12月25日～27日 第34回全日本クロスカントリー音威子府大会
- ・ 1月6日 第35回伊藤杯全日本チャンピオンズスキーレース
- ・ 1月7日 ワンウェイ杯全日本クロスカントリーレース2017
- ・ 1月8日 札幌トヨタ杯全日本クロスカントリーレース2017
- ・ 1月29日 第95回全日本スキー選手権大会スキーアスロン種目
- ・ 3月2日～5日 第88回宮様スキー国際競技会
- ・ 第95回全日本スキー選手権大会の全種目

ただし、フリー・テクニクレースにつきましては上記以外の全てのSAJ公認大会において $100\%$ 条項は適用されます。

各選手のデータ採取のため、第31回全日本学生チャンピオンズスキー大会開催中に、参加選手の測定を実施することとなりますので、関係者から指示がありましたら、その指示に従い、確実に確認作業を行うようお願いします。

以上